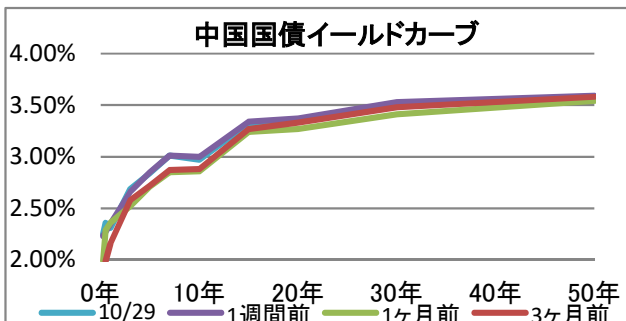
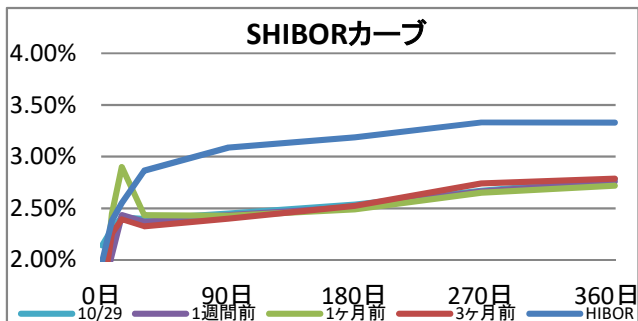


①市場概況

基準レート		2021/10/29	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.3907	-0.0125
	JPY/CNY	5.6251	0.0059
SHIBOR	3M	2.4490%	+0.0150%
国債利回り	10年	2.97%	-0.03%
上海総合指数		3,547.34	-35.26



(1) 概況

世界の金融市場は、日欧の金融政策決定会合や米GDPに加え、週末のG20や翌週のFOMC等の材料を前に概ね小動きとなったが、米国では株式市場が好調な企業業績を背景に最高値を更新し、債券市場では早期緩和縮小に備えたベアフラットトニングが進んだ。

中国金融市場では、不動産税導入による不動産関連企業の更なる業績悪化懸念等もあって株式市場は軟調推移となったものの、債券市場では中国人民銀行による積極的な資金供給や中国国債のFTSE世界国債インデックスへの組み入れに伴う国外からの資金流入もあって10年債利回りは3%を下回る水準で安定推移。外為市場でも、国外資金流入による元高が進んでいものの、月末のドル需要や大手国有商業銀行のドル買いの話も伝わり、6.38台は底堅く、6.40台に戻している。

中国では、米中関係改善に向けて劉副首相とイエレン財務相、王外相とプリンケン國務長官らが協議に臨んだものの、両者の立場の違いからいずれも協議継続に合意するにとどまっている。李首相はASEAN+3において、経済一体化を推進や日中韓の投資基金設立推進やASEANを含めた投資協力枠組み計画の検討を呼びかけ、デジタル経済の発展を支援するとの意見を表明している。また、中国発展改革委員会と国家外貨管理局は中国企業に対外債務構造の最適化と支払いの事前準備について指導し、中国人民銀行は日本銀行との為替スワップ取極(2,000億元)を3年間延長している。対外開放については、中国銀行保険監督管理委員会が弊社の株式追加取得による中国合弁会社の子会社化を認可している。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日3,200億元と中央国庫商業銀行定期預金期日700億元に対し、新規リバースオペ10,000億元と新規中央国庫商業銀行定期預金700億元を実施し、差し引き6,800億元を供給している(2020年1月以来の高水準)。納税と地方債発行に伴う資金需要の高まりに対応し、流動性を十分供給する姿勢を示している。

(3) 主な経済指標

国家統計局のPMI(10月)は、製造業が49.2(9月49.6)、非製造業52.4(同53.2)、総合51.6(同52.4)となった。製造業は7ヶ月連続の低下で2ヶ月連続して50を下回り、電力や半導体の不足による生産面のみならず受注も減少する厳しい内容となっている。非製造業でもIT関連が高水準で推移する一方でCOVID-19感染再拡大や天候の影響を受けて運輸等が弱含み、不動産関連での悪化が続いている。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.1420%	1.7000%	2.1200%	
1W	2.2990%	3.4000%	1.8000%	2.3000%
2W	2.4140%	2.4000%	2.8000%	2.2600%
1M	2.3980%	2.3500%	2.4500%	2.3000%
3M	2.4490%	2.9000%	6.5000%	2.5600%
6M	2.5360%	2.5360%		2.7200%
9M	2.6690%			2.7700%
12M	2.7820%			2.7975%

中国人民銀行による月末要因や納税、地方債発行の影響緩和を目的とする大量の資金供給により、平穩に月末を乗り切り、供給姿勢への信頼感は増している。ターム物は1ヶ月の2.4%前後での出会いを除き限定的。

NCDは、引き続き投資家による長めの期間の積極購入姿勢が確認されたものの、金利水準には概ね変化がなかった。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.25%、3ヶ月物は2.55%、6ヶ月が2.70%、1年が2.80%を中心とする取引が続いた。

(2) 米ドル資金(本土内)

	BID	OFFER
ON	0.03%	0.04%
1W	0.03%	0.05%
1M	0.08%	0.10%
3M	0.20%	0.25%
6M	0.25%	0.30%
12M	0.45%	0.50%

資金需給に変化はなく、ターム物の金利水準は、1ヶ月は0.10%、3ヶ月は0.25%、6ヶ月0.35%前後での取引が続いている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.25%	2.28%	2.56%	2.65%	2.94%
6M	2.36%	2.41%	2.66%	2.74%	3.03%
1Y	2.31%	2.41%	2.77%	2.78%	3.09%
3Y	2.69%	2.91%	3.30%	3.19%	4.01%
5Y	2.84%	3.07%	3.36%	3.49%	4.41%
10Y	2.97%	3.30%	3.66%	3.79%	4.71%

債券市場では、前週に金融緩和期待の後退により債券利回りが大きく上昇していたものの、材料難の中で中国人民銀行による大量の資金供給と国外からの投資資金流入により中期ゾーンと信用債を中心に買いが集まり、10年国債利回りも3%台を下回る水準まで低下している。

イールドカーブは、月末とあって市場参加者のポジション調整からやや区々の状況となったものの、総じて利回りが低下する中で、中期ゾーンまでがフラット化し、中長期ではスティーブ化している。クレジットスプレッドは信用債利回りの低下により縮小し、特に中期で大きく縮小している。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	30.6 / 30.8
1M	144.5 / 145.0
3M	527.0 / 527.3
6M	931.0 / 931.9
9M	1325.0 / 1326.0
12M	1726.0 / 1727.0

対ドル基準レートは、6.3907と前週末比-125pipsのドル安元高、対円基準レートは5.6251と同+59pipsの円高元安となり、週半ばには対ドルで6.38台で設定され、CFETS人民元指数も100を超えて5年9ヶ月来の高水準となっていた。国内市場では、週前半は米中関係改善への期待や国外からの投資資金の流入により元高が進んだものの、月末のドル需要もあって6.38近辺は底堅く、6.40台まで戻して週末（月末）を迎えている。

先物は、中国人民銀行の資金供給による人民元金利の落ち着きもあってスワップ幅はやや縮小したものの、国外からの投資資金流入は続いており、1年物は1700台での取引が続いている。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.34%		2.07%
6M	2.35%	2.55%	2.07%
9M	2.37%	2.61%	2.16%
1Y	2.39%	2.67%	2.15%
3Y	2.59%	3.00%	2.33%
5Y	2.80%	3.26%	
7Y	2.95%	3.42%	
10Y	3.08%	3.50%	

債券利回りは低下したものの、短期の基準金利の高止まりによりスワップ金利の低下幅は限定的となり、カーブ形状にも変化はない。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは、債券利回り低下の方が相対的に大きく、中期を中心に縮小している。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。